

モデル経営体名：赤石 正樹（熊谷市）

展開：露地野菜の産地の強化に係る展開

経営概要 3.1ha（やまといも1.0ha、ねぎ2.0ha、その他0.1ha）
うち実証面積 やまといも0.6ha

導入技術 ①環境モニタリングシステム・vegetalia（株）・FieldServer FS-2300 3台



主なセンサー類

②土壌環境モニタリングセンサー（VGT-WD5） 3台



③気象環境モニタリング（VGT-SS1502） 1台



実証の状況

①実証の目的：

- ・環境モニタリングシステム「FieldServer」を活用し、遠隔ほ場の降水量・土壌水分等のセンシングを行い、経験から判断していたやまといものかん水等管理作業について「見える化・省力化」を図る。
- ・データと収量・品質との関係性を分析して今後の管理に活かし、やまといもの品質安定を図る。

②実証状況：

- ・令和4年度は土質の異なる3ほ場にFieldServerを設置して、慣行作業の「見える化」を実施した。来年度からは、数値を定めての実証を予定している。
- ・3ほ場について、土壌水分と降水量、かん水の影響を「見える化」することができた（図1）。
- ・現在やまといもの生育に適正な土壌水分値、土壌水分と降水量、かん水の関係性について分析中。

③モデル経営体の感想：

- ・設置が簡単で思ったより扱いやすく、スマホで簡単に数値を確認できる点が良い。
- ・圃場を見回る回数が減り、時間と労力を他の作業に回せるようになった。
- ・今後は数値を精査し、作物の品質向上に役立てていきたい。

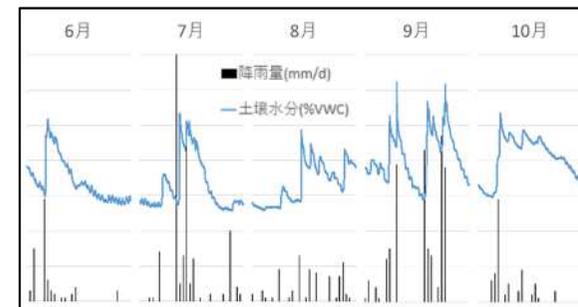


図1 降水量、土壌水分推移（6月～10月）

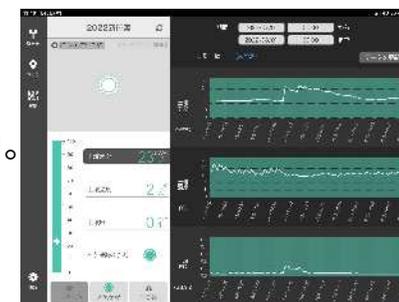


図2 FieldServer稼働状況